

第29回茨城県民歯科保健大会

令和5年11月12日（日）、茨城県歯科医師会館において「人生100年 いい歯は毎日を元気に」をテーマに、第29回茨城県民歯科保健大会を開催しました。オープニング動画では、歯科医師会の活動の紹介に続き、口腔と全身の関わり、生涯を通じた歯と口の健康づくりについて説明しました。式典では、大会主催者の茨城県歯科医師会 榎 正幸 会長が、「人生100年といわれる時代になり、年齢を重ねても毎日を元気に過ごすために『いい歯』を保つことがますます重要になっている。健康でしっかり噛める歯を保つことは、生活習慣病の予防、感染症予防、フレイル予防、さらに、認知症予防につながる。関係機関と連携しながら県民の皆様の生涯を通じた歯と口の健康づくりを支援し、健康寿命の延伸に寄与していきたい。」と挨拶しました。



歯科保健大会主催者挨拶(榎 歯科医師会長)



8020高齢者よい歯のコンクール表彰

開会行事に続いて行われた表彰式では、「**8020高齢者よい歯のコンクール**」の優秀8名、シニア賞1名、歯科医師会長特別賞1名が表彰を受けられました。受賞者は、80歳以上でほとんど自分の歯を失わずに健康な歯を保ち、活動的で他の模範となる歯科保健習慣を実践されている方々で、会場では、受賞者のお写真とプロフィールを映写し、日頃の生活習慣などを紹介しました。受賞者のお元気で若々しいお姿に、会場から大きな拍手が送られました。

次に、「**親と子のよい歯のコンクール**」の最優秀1組、優秀3組の表彰が行われました。受賞者は、親子ともに健康な歯を保ち、家族ぐるみで歯の健康づくりに取り組んでいる方々です。可愛らしいお子さんたちがステージに上がると、会場が笑顔に包まれていました。



親と子のよい歯のコンクール表彰



歯と口の健康に関するポスターコンクール表彰

次に、県内の小・中学校から応募いただいた「**歯と口の健康に関するポスターコンクール**」の小・中学校の部のそれぞれ、知事賞、教育長賞、歯科医師会長賞、優秀賞の表彰が行われました。会場では、作品をスライドで紹介し、その工夫を凝らした素晴らしい作品が映されるたび、感心する声に沸いていました。

続いて「**茨城県歯科保健賞**」は、医科と歯科の連携を積極的に推進されている県立中央病院副院長兼がんセンター長の小島寛先生が受賞されました



歯科保健賞 表彰

表彰状授与の後には、よい歯のコンクール受賞者を代表して、親と子のよい歯のコンクール最優秀 大山 玲子様より謝辞が述べられ、「子どもの仕上げみがきはスキンシップの大事な時間。これからも歯みがきや食生活に気を配り、定期歯科検診を続けて、家族で健康な歯を守っていきたい。」との言葉がありました。ポスターコンクール代表の中学校の部知事賞 出久根 祐樹さんは、「健康な歯があれば何でもおいしく食べられる。自分の描いたポスターを見てくれた人に歯の大切さが伝わるとうれしい。」と述べました。



受賞者代表 謝辞(よい歯のコンクール代表)



受賞者代表 謝辞(ポスターコンクール代表)

お2人の素晴らしい言葉に、会場全体が清々しい気持ちに包まれ、表彰式は閉会となりました。

表彰式会場前ロビーには、「よい歯のコンクール受賞者メッセージ」、「歯と口の健康に関するポスター作品」などが展示され、受賞者の皆様のご家族と写真撮影をしたり、作品を熱心にご覧になったりする様子が見受けられました。また、茨城ご当地よ坊さん「みがこーモン」が来場者をお迎えし、記念撮影に応じました。



みがこーモンが来場者をお迎え

ロビー展示

よい歯のコンクール受賞者メッセージ
 歯と口の健康に関するポスター作品
 歯科保健賞受賞者の取り組み
 歯科専門学校紹介・歯科医療のお仕事
 ひとにやさしい器 ユニバーサルデザイン 笠間焼



受賞者、ご家族、ご来賓、関係者の皆様の多数のご出席、誠にありがとうございました。